

令和5年4月11日 入学式 式辞

今年は殊の外春の訪れが早く、春の気配も整い、草木の緑が美しく映える季節となりました。今日の佳き日、来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和5年度島根県立江津高等学校入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。在校生、教職員一同、新入生の皆さんを心から歓迎いたします。

さて、ただ今、入学を許可いたしました66名の新入生の皆さん、あらためて本校への入学おめでとうございます。今、皆さんの心の中は、これから始まる高校生活にわくわくする気持ちと新たな環境での生活に対する不安とが入り交じっているのではないのでしょうか。「初心忘るべからず」という言葉があります。今の新鮮な気持ちを忘れずに、これからの高校生活を送って欲しいと思います。

高校生活のスタートにあたり、二つのことをお話します。

一つ目は、志を高く掲げ、「新しい自分」を創って欲しいということです。三年後の自分、十年後の自分はどのようでありたいでしょうか。人は、心の在りようを変えれば行動が変わります。日々の習慣が変われば、新たな良き習慣が自分をさらに成長させることができます。本気で学びに向かう自分、部活動に打ち込む自分、学校行事や生徒会活動、地域での活動やボランティア活動に積極的に関わる自分、新たな自分を創ってください。入学式の今日は、新たな目標に向かってスタートを切るのに最もふさわしい日です。自分を変える絶好のチャンスです。

もう一つは、「挑戦する人間」であれということです。挑戦すること自体が人を成長させます。自らの成長のために様々なことにチャレンジして欲しい。高い志と理想を持ち、自分の可能性に挑戦して欲しい。仮に失敗しても、失敗から学べばよいのです。失敗の痛みから立ち上がる経験は、皆さんに本物の強さと自信を与えます。再チャレンジは皆さんの可能性を限りなく伸ばします。恐れず、妥協せず、果敢に挑戦する姿勢を忘れないでください。一人ではくじけそうな時は、仲間とともに挑戦することも大切です。同じ目標に向かい、ともに苦勞を分かち合うことで、仲間との絆、本物の友情を深めることができます。

昨今の変化が激しい時代のことを「VUCA（ブーカ）」と言います。VUCAとは「Volatility（ボラティリティ：変動性）」・「Uncertainty（アンサートゥンティ：不確実性）」・「Complexity（コムプレキシティ：複雑性）」・「Ambiguity（アムビギュイティ：曖昧性）」の頭文字を並べたものです。VUCA時代とは変動性が高く、不確実で複雑、さらに曖昧さを含んだ社会情勢を示しています。コロナ禍という未曾有の環境変化に突如置かれた世界、困難で予測不能な国際情勢など、これまでの経験や知識だけでは対応できない事態が生じました。こうした時代だからこそ、皆さんが自らの人生を自らの力で切り拓くとともに、地域及び社会全体の課題解決に貢献できる人に成長することを期待します。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。あらためてお祝い申し上げますとともに、お子様の成長と大きな志の実現のために、教職員が一丸となって尽力することをここにお約束いたします。お子様の健全な成長のためには、学校とご家庭の連携協力も必要です。改めて保護者の皆様ならびに本日ご臨席の皆様には、本校の教育活動に対し、ご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

令和五年四月十一日

島根県立江津高等学校長 田村康雄